

[講演要旨]

明治期の地震史料としての伏見酒造組合文書

加納靖之*(東大地震研)・水島 和哉(京大経)

§1. はじめに

『伏見酒造組合資料』は近世文書 320 点あまりをふくみ、他に、近代文書を合わせると 300 簿冊にもなる膨大な資料群である。大部分の資料が簿冊として綴じられている。伏見酒造組合が所蔵し、2013 年 7 月から、京都大学経済学部経済資料センターに寄託されている。整理が続けられており、2015 年 7 月には、近代文書 150 冊、5500 点あまりについて件名目録が公開され、資料も閲覧に供されている〔水島(2015)〕。

同資料の件名目録を確認したところ、3 つの地震—1891 年濃尾地震、1894 年東京地震、1909 年姉川地震—に関係する資料が含まれていた。1892 年の震災予防調査会の設置以降、被害をともなう地震については、震災予防調査会によって調査、報告がなされており、これらの 3 つの地震についても多くの報告がある。しかしながら、基本的には現地踏査による調査に基づくものであり、現在のように高密度なデータがあるわけではない。各地の記録の発掘と分析によって、それぞれの地震のよりよい理解につながる可能性もある。

『伏見酒造組合資料』は『伏見酒造組合誌』(1955)の編纂などに用いられているが、大部分は未公開である〔水島(2015)〕。組合史等でも、軽微な被害や遠方の地震などについては語られず、これまで注目されていない。

ここでは、同資料の件名目録から地震との関係が明らかな資料を抽出し、これらに地震がどのように記録されているかを分析した。

§2. 地震に関連する資料の概要

『伏見酒造組合資料』は現在約 150 冊が公開されている。そのうち件名目録から地震との関連が明らかなのは 4 冊であった。この 4 冊は、年度別、主題別に綴られた簿冊である。1891 年濃尾地震については簿冊 077 と 089、1894 年東京地震については簿冊 082、1909 年姉川地震については簿冊 106 である。これらの簿冊には、多様な文書が綴られており、それぞれの文書の形態も様々である。筆やペンで書かれたものも印刷されたものも含まれる。また書状や葉書も含まれる。組合事務所が受領した書類と他所に送信したものの写しや案文も含まれている。これら多様な文書のなかに、地震に関連する文書が綴じこまれている。

1891 年濃尾地震は 1891 年(明治 24 年)10 月 28 日に発生した。愛知県、岐阜県、福井県を中心として

各地で大きな被害が発生した。簿冊 077 は「廿四年度組合ニ関スル書類綴」、簿冊 089 は「廿四年度組合経費ニ関スル書類綴」と題されている。同じ年度の書類のうち、経理に関するものとそれ以外の雑多な書類とが別の簿冊に綴じられている。簿冊 077 は全 91 点のうち 6 点、簿冊 089 は全 59 点のうち 3 点が地震に関連する資料であった。

簿冊 106 は「明治四十一年起 雑書綴」で明治 42 年の書類も綴じられている。資料 106-079「伏第四四九一号(地震による清酒への影響に関し)」は明治 42 年 8 月 18 日付であり、「今回地震」について、伏見酒造組合からの報告に対する伏見税務署長からの返答である。日付から 1909 年(明治 42 年)8 月 14 日に発生した姉川地震に関連する文書と考えてよいだろう。この地震では、滋賀県の東部から岐阜県西部にかけて被害が発生した。この資料の記述からは、地震動により酒樽の化粧張りに清酒が浸み出したことがうかがえる。樽の密閉状態が酒の品質に関わることから、以後の保管体制に注意することとしている。

1894 年(明治 27 年)6 月 20 日に発生した東京地震では、東京湾岸を中心に大きな被害が生じた。『伏見酒造組合資料』では、簿冊 082「廿六年度廿七年度雑書」に関連する資料がある。資料 082-112 では、6 月 25 日付で、酒類「合計三百八拾二樽破損」したことが報告されている。また、東京酒問屋組合において被害の救済方法が協議中であることも書かれている。その後 7 月 7 日付(資料 082-126)で損害金額を加えた詳細な報告が出されている。082-112 に書かれた 382 樽と 082-126 に書かれた 191 駄は同数である。ここで、駄(太)は清酒の取引の単位で、1 駄は 2 樽に相当する。これらの樽が被災したことによる被害額が 1962 円 49 銭 7 厘であったことがわかる。

謝辞

伏見酒造組合には、資料の閲覧・翻刻についてご許可をいただきました。京都大学経済学部経済資料センターには資料の閲覧にあたってたいへんお世話になりました。

参考文献

加納靖之・水島和哉, 2018, [報告]『伏見酒造組合資料』にみえる明治期の地震, 歴史地震, 213-219.

水島和哉, 2015, 伏見酒造組合資料(第 1 次分)について, 京都大学経済資料センターニューズレター, No.1,6-7, <http://hdl.handle.net/2433/215089>